

植物の環境・体質を改善して、安心安全・農業の実現を

光彩フィットン シリーズ

改良調整
環境代謝
土壌活性

光彩フィットン 養生F (花卉、果菜、果樹用)

光彩フィットン 養生L (葉菜・根菜、観葉植物用)

光彩フィットンC (施設内環境調整蒸剤液)

光彩フィットンGT (受粉剤用希釈液)

光彩フィトンシリーズ 養生F・養生L・C・GT

光彩フィトン開発コンセプト

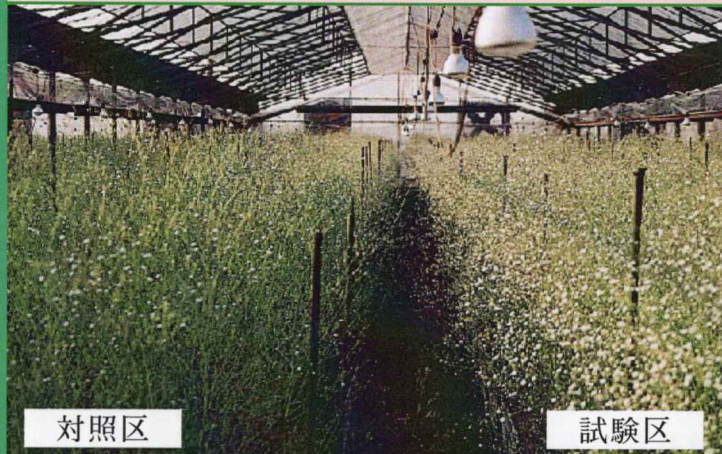
作物に発生する様々な障害は、作物が本来備えているフィトンチッド(放香・他感物質等)の作用が低下している為です。これらの作用が、作物自体で発揮できるように体質を健全にし、環境を改善する事が必要です。

環境改善

- 作業者もすがすがしく、栽培環境が改善されバランスの取れた生育状態になります。
- ハチがよく飛び受粉を助け、花卉の落ちが早く果形等がよくなります。
- 水の粒子(クラスター)が小さくなる為、汚れ、匂いが少なく乾きが早く、薬剤の効果も高まります。

土壌改善

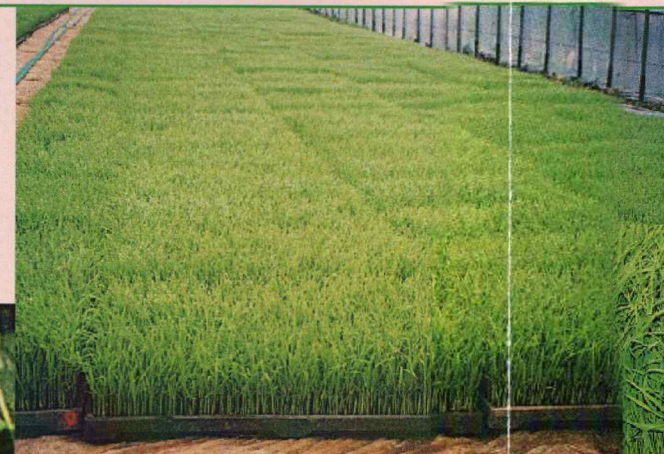
- クラスターが小さい為、根域の酸欠状態が改善され、微生物の働きが活発になります。
- 堆肥や肥料の分解が促進され、養分吸収が良くなります。
- PH・EC等が改善され、濃度障害やガスの発生が除去されます。
- ミネラル等の主成分が補給され作物がバランス良く生育します。



対照区

試験区

花が白く鮮やかで、くきがかたく日持ちが良い。又対照区より出荷が早い。



初期にムレ菌状態だったが灌水時に使用した所、根が多い健全な菌に回復した。



葉が厚く健全に成育し、花落が良く、食味、日持ち玉太りが良い。

露玉が大きく、色艶が良い時は、リーチング(自浄)作用が活発で元気です。



花芽、花数が多く、枯れ葉が少なく色、艶が鮮やか。



葉が多くなり、着色、艶、玉太りが良く、へたの緑化が維持され新鮮。

- ◎色彩が鮮やかになり、香り・艶・品質・収量・日持ちが良くなる。
- ◎アミノ酸・ミネラルなどが豊富に含まれ、バランスのとれた草勢・樹勢となり、成育が活発になる。
- ◎植物の生育環境と体質が改善され、農薬使用量が激減する。

光彩フィトンの主成分 松・薬草などの植物抽出エキス・各種天然アミノ酸・ナトリウム・カリウム・カルシウム・マグネシウム・鉄・銅・亜鉛・マンガンなどのミネラル

使用方法

光彩フィトン養生F・養生L

10×12本入 / 40×4本入

	ハウス栽培	露地栽培
灌水時 (10a)	原液1~20 / 月2~4回	原液1~20 / 期間中1~3回
	(約 4,000~6,000倍で混入)	
葉面散布	2,000~4,000倍/月3~6回	2,000~4,000倍/月1~3回

- 収穫途中でも使用できます。苗の時期からの使用が効果的です。
- 灌水・葉面散布を定期的に継続して行なう方が効果的です。
- 予防で農薬と混用される時は農薬を希釈内での薄めの使用が効果的です。

光彩フィトンC (施設園芸環境調整用蒸散液)

120cc×6本入

10aあたり 原液3~7cc/100~1,000倍液を毎日6~9時間蒸散
(日没3~4時間、朝方3~4時間)

希釈濃度の目安

ハウス内湿度環境 乾燥:800~1,000倍 (暖房機が長く回るとき等)
高湿度:100~300倍 (雨天が続き湿度が高い時)

光彩フィトンGT (受粉剤用希釈液)

120cc×6本入

光彩フィトンGTを1,000倍液に希釈後、受粉剤等の薬剤を混用
(受粉効果が高まるので、受粉薬剤の量を20~50%減らして下さい)

注意及び保管

- 多少沈殿物がありますが、品質は変わりません。攪拌してください。
- 光彩フィトンを希釈してから、他の薬剤を混用して下さい。
- 毒物ではありませんが飲めません。付着時は水で洗い流してください。
- 冷暗所に保管し、開封後はフタをよく締めてください。
- 開封・希釈後は早めにご使用下さい。
- 希釈混用された薬剤は、残さず使い切ってください。

《環境・体質を改善して、安全・安心農業》

製造販売元

有限会社 光彩 こうさい

取扱店